

令和2年度取組状況

ものづくり工学科 生産システム工学コース 准教授 伊藤 聡史

取組状況	
教育	<p>第1学年の担任を務め、超早期に情報インフラ整備・運用を新入生に導入し遠隔教育環境の確保に大きく寄与した。今年度実施した導入教育やスケジュールは今後の新入生教育に継続的に適用すべきものとなり、多大な成果となった。</p> <p>第4学年の実習テーマの設計製作実習について、従来は加工時にフライス盤を用いていたがこれをレーザー加工機に変更して、その教育効果を検討した。加工法が切削から溶融除去へ変更となり、設計意図の加工状況への反映が難しくなり、設計⇄製作の技術的検討要素があいまいになる点が見られた。次年度は論点整理を行いたい。</p>
研究	<p>材料表面の微細加工による摩擦・摩耗挙動への影響に関する研究(東京海洋大学共同研究)および、フレッチングにおける特異摩耗現象の解明に関する研究に当たった。今年度の進展として、メールアドレスの意見交換で、東京海洋大学の大学院生のテーマを中心として扱っていく方向で調整が取られた。また、実験装置の整備および実験データ処理プログラムの運用に関して、直接東京海洋大学に出向いてそれらの実地指導を行った。次年度以降は研究対象の要点化を進めつつ、本校においても並行して再現性や実証実験を行える形に整備を進めたい。課題は本校の研究環境や人的資源が乏しい点であるため、卒研等のあり方についても検討が必要と考える。</p> <p>今年度の論文、学会発表などの実績はない。</p>
社会貢献	<p>1.若手技術者支援講座 機械設計のための基礎 講師 2.熱処理技能検定検定員(検定中止)</p>